

平成25年度

郡上山づくり構想に基づく施策の実施状況報告書



平成26年7月
郡上市役所農林水産部林務課

【 目次 】

はじめに	……………	P 1
I. 平成 25 年度の総括	……………	P 4
II. 基本的施策ごとの実施状況	……………	P 6
1. 災害に強い山づくり		
2. 多様性のある山づくり		
3. 快適な森林空間づくり		
4. 木材資源の循環		
5. 森林資源の利用促進		
6. 山を支える人づくり		
7. 地域を支える人づくり		
8. 林業を支える人づくり		
■ 資料 郡上市の森林・林業	……………	P 21

はじめに

郡上市では、平成22年3月に郡上市の森林・林業の長期ビジョンである『郡上山づくり構想』を策定しました。

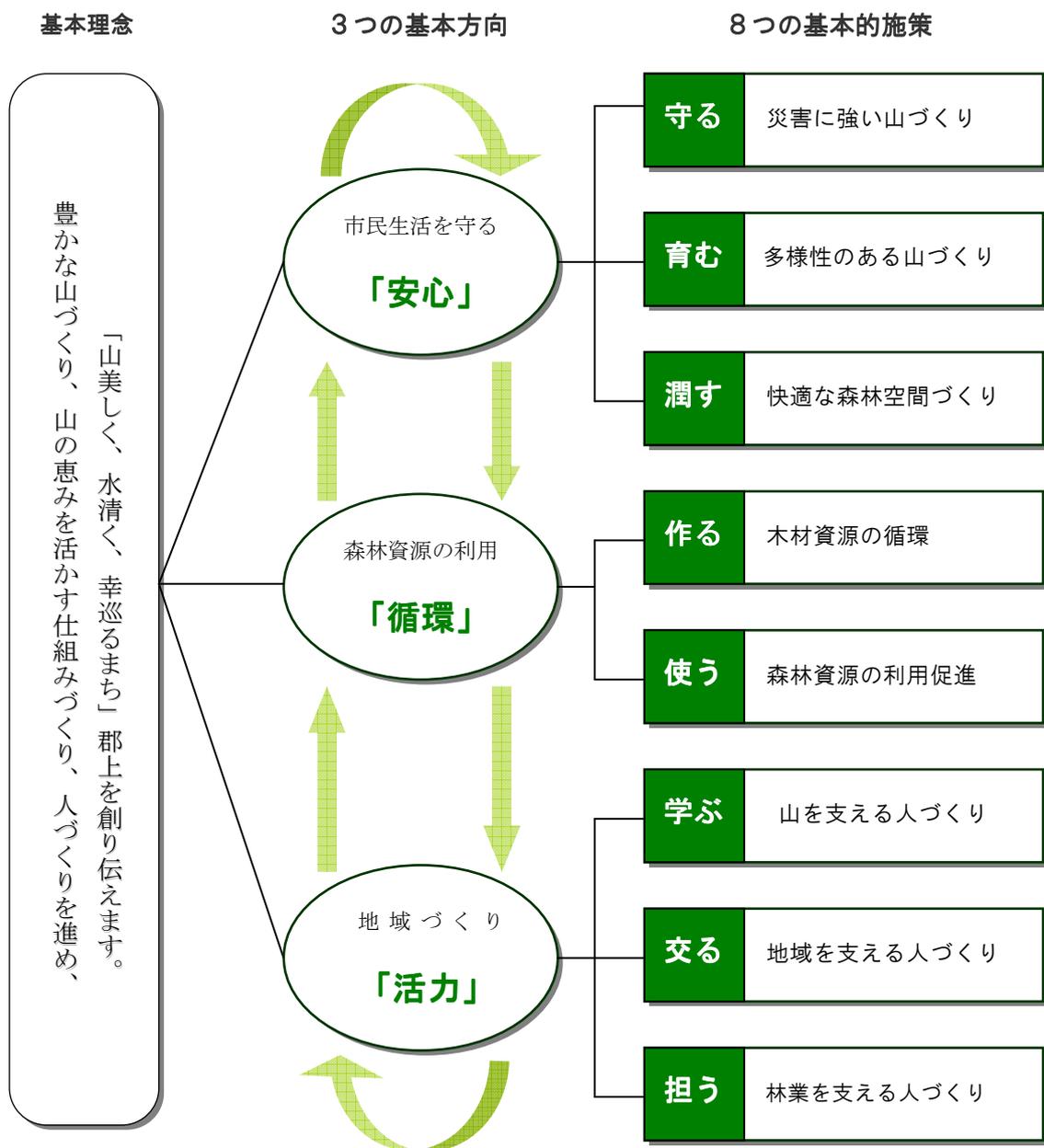
構想では、「山美しく、水清く、幸巡るまち」郡上を創り伝えることを基本理念とし、森林整備、木材利用、人材育成の3つの観点から施策の方向性と推進内容を示しています。

平成25年度も構想で示す基本方向に従って市民、関係団体の皆様、県と協力して山づくりを推進しましたので、その内容を施策ごとの実施状況として報告します。



● 『郡上山づくり構想』で定める基本方向と基本的施策

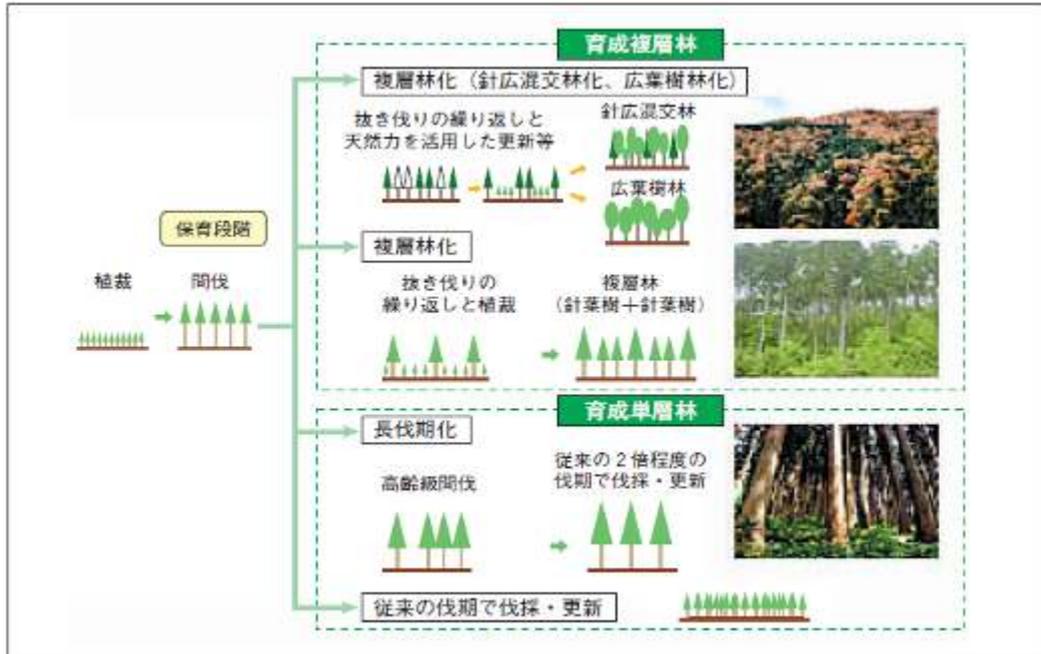
< 施策体系 >



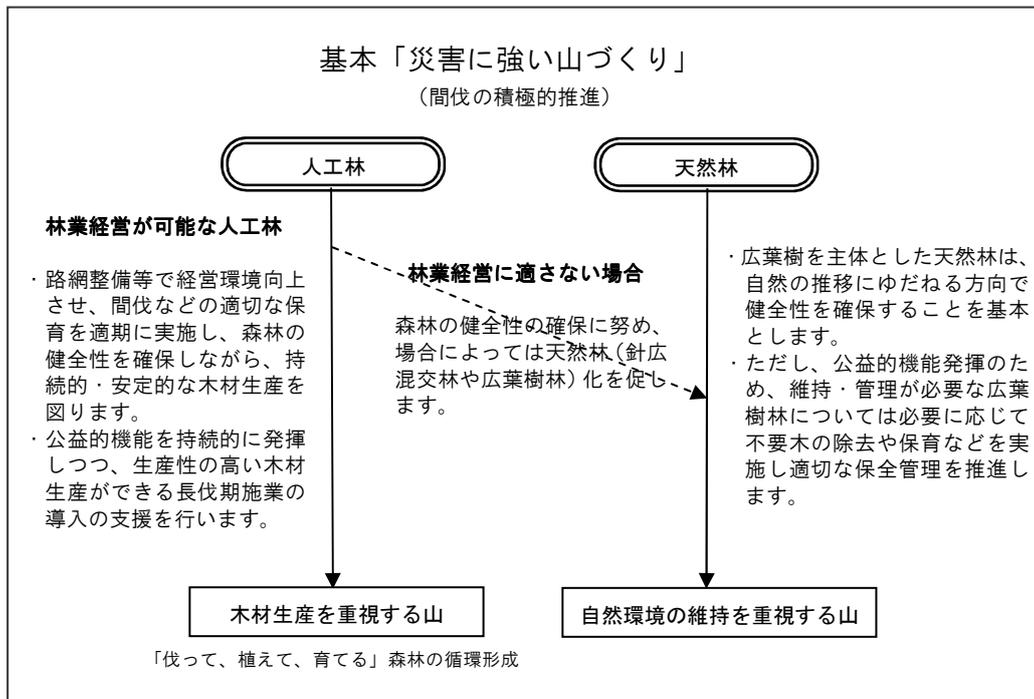
郡上山づくり構想では、豊かで美しい山を実現するために基本理念に基づく3つの基本方向、8つの基本的施策により山づくりを進めることとしています。

●多様な山づくりの推進

森林構成や利用目的に応じた多様な山づくりを推進します。



●森林整備の基本方向



I. 平成 25 年度の総括

平成25年度は、国において「農林水産業・地域の活力創造プラン」がまとめられ、森林・林業については、新たな木材需要の創出や国産材の安定的・効率的な供給体制の構築など、林業の成長産業化に向けた施策が示されました。

県においては、郡上市の大型製材工場や瑞穂市の大規模バイオマス発電施設の整備が進み、森林資源を余すところなく利用する体制が整いつつある中で、森林経営計画の作成による計画的な森林整備や低コスト木材生産を進めました。一方、林業では対応困難な里山や水源林などにおいては、清流の国ぎふ森林・環境税を活用しながら、環境に配慮した森林づくりの取り組みを行い、また、平成 25 年 4 月に施行した岐阜県水源地域保全条例に基づき重要な水源林の保全に努めるなど、環境を重視した森林づくりも推進されました。

市ではこのような状況の中、伐期を迎えた人工林資源の有効活用と、森林整備を併せた公益的機能の維持・増進を図る必要があることから、平成 24 年度の郡上市森林づくり推進会議の市長提言に基づき、「郡上市皆伐施業ガイドライン」の作成や、「郡上市素材生産技術協議会」の設立など、持続的・安定的な木材生産体制づくりと豊かな森林環境の創出に繋がる施策に努めました。また、明宝温泉湯星館の木質ボイラー導入にあたり、地域資源を効率的に活用する仕様検討や、市内公共施設の木質ボイラー導入可能性調査等を実施しました。

そのほか、昨年度に引き続き木の駅プロジェクトへの活動支援や、薪ストーブ購入や郡上市産材住宅建設への補助、地域木材の活用促進の取り組みを積極的に進めました。

さらに、人材育成事業による森林・林業の担い手の育成やみどりの祭りなどのイベントを開催して、森林の大切さの普及・啓発に努めました。

①郡上市皆伐施業ガイドラインの作成

- ・持続的・安定的な木材生産体制づくりと公益的機能の維持・増進を図るため、森林の皆伐を行う際の留意事項をまとめた「郡上市皆伐施業ガイドライン」を作成し、関係者に周知しました。



②郡上市素材生産技術協議会の設立

- ・素材生産に関わる事業者が連携して、素材生産技術や知識の向上、情報交流を行うことで、安全や環境に配慮した持続的な木材生産体制の強化・推進を図るため、郡上市素材生産技術協議会が設立されました。



③ 水源地域の指定

・岐阜県水源地域保全条例の施行に伴い、水道水源及びその周辺の 65 箇所（12,083ha）が重要な水源地域として指定されました。



④ ニホンジカ対策の推進

・森林・環境基金事業等により、年間 1,741 頭のシカが捕獲されました。また、26 年度の施行に向け、「郡上市鳥獣被害対策実施隊」を設置する条例を制定しました。その他、郡上森づくり協同組合において、シカ害の影響を受け難い再生林技術の検証が行われました。



⑤ 里山の保全

・地域住民による里山林等の保全管理や森林資源の活用を実施していく体制づくりの支援として、森林山村多面的機能発揮対策事業が始まりました。

この事業を活用し、市内 7 団体が約 20ha の里山を整備しました。



⑥ 森林経営計画の作成推進

・25 年度までに、89 件、14,274ha の森林経営計画が認定されました。また、森林経営計画制度の見直しが行われ、26 年度から従来の属地・属人計画に加え、市の森林整備計画に定められた区域内において、30ha 以上の森林を対象に森林経営計画を作成できるよう措置されました。



⑦ 長良川木材事業協同組合設立と起工式

・大型製材工場の事業主体となる長良川木材事業協同組合が設立されました。また、26 年 2 月 28 日には製材工場の起工式が行われました。



⑧ 原木安定供給体制整備

・皆伐による木材生産に対する疑問や不安を解消するとともに、市内の大型製材工場に安定的に木材を供給する体制づくりを検討するため、有識者など講師を招き事業者・国・県とともに勉強会を 3 回開催しました。



Ⅱ. 基本的施策ごとの実施状況

8つの基本的施策ごとの実施状況は次のとおりです。

守る

1. 災害に強い山づくり

① 間伐の積極的推進

■ 間伐の推進

平成25年度の郡上市全体の間伐面積は1,435haで、その内の535haの間伐に対し、国、県の補助に上乗せをして助成を行いました。間伐面積が前年度と比べ大幅に減少した主な原因としては、国の間伐補助施策が切捨間伐から利用間伐へ移行したことが考えられます。利用間伐に適さない森林については、森林・環境基金事業を利用して370haの切捨間伐を実施しました。

(造林推進事業、森林・環境基金事業)

実績		単位：ha			
年度	H22	H23	H24	H25	
間伐	3,078	2,629	1,976	1,435	
うち利用間伐	200	524	568	654	
うち補助対象面積	1,946	1,403	851	535	

※伐採届、補助実績より



間伐状況（大和町古道地内）

■ 森林整備事業の実施

植林、保育など森林整備に関する事業に対して国、県の補助に上乗せして助成を行いました。（造林推進事業）

施業	H23 実績	H24 実績	H25 実績
植林	16.07ha	18.29ha	12.12ha
下刈り	72.68ha	81.61ha	79.51ha
雪起し	28.52ha	46.83ha	51.45ha
除伐	59.24ha	27.84ha	8.23ha
枝打ち	58.33ha	48.74ha	2.57ha



植栽状況（大和町栗巣地内）

② 違法伐採の禁止と伐採跡地の確実な更新

■ 伐採届に対する指導

地域森林計画の対象になっている森林の伐採について、25年度は218件の伐採届（森林法第10条、15条）を受理し、届出者に対して伐採方法、造林方法等について指導を行いました。

■ 皆伐跡地の調査

皆伐跡地の植生状況調査のため、9月から11月にかけて県・市担当者が市内6地域、11箇所の皆伐跡地を調査し、『皆伐跡地調査報告書』を作成しました。



プロット調査の様子

■ 林地開発の許可

県において、1haを超える3件（白鳥町・高鷲町）について林地開発の許可をしました。

③ 保安林と治山事業

■ 保安林

保安林内間伐届出書を87件受理し、届出者に伐採方法等について指導を行いました。

■ 治山事業の実施

県では、山地災害により被災した箇所の早期復旧のため、災害発生から概ね3年以内に、復旧対策の完了を目標としています。市内においては、復旧治山事業など35箇所が施工されました。



大和町剣地区

治山事業実施状況

事業名	H23 実績	H24 実績	H25 実績
復旧治山事業	6 箇所	7 箇所	8 箇所
予防治山事業	10 箇所	13 箇所	20 箇所
奥地保安林保全緊急対策事業	2 箇所	2 箇所	3 箇所
東海北陸自動車道土砂流出対策事業	- 箇所	4 箇所	- 箇所
県単治山事業	5 箇所	9 箇所	3 箇所
集落環境保全整備事業	2 箇所	2 箇所	1 箇所
	25 箇所	37 箇所	35 箇所

① 森林整備の考え方

■ 森林経営計画制度の開始

25年度までに、89件、14,274haの森林経営計画が認定されました。

また、森林整備地域活動支援交付金事業等により、森林経営計画の作成や間伐等の施業の促進について支援しました。(森林整備地域活動支援交付金事業・持続的森林経営確立総合対策実践事業)

経営計画実績

	H24	H25
認定件数	43件	46件
面積	8,142ha	6,132ha



打ち合わせの様子

森林整備地域活動支援交付金事業実績

	H23	H24	H25
協定数	17件	10件	1件
対象森林面積	29,775ha	16,581ha	56ha

持続的森林経営確立総合対策実践事業

	H25
事業体数	1事業体
作業路の改良延長	8,200m

■ 岐阜県水源地域保全条例に係る水源地域の指定

県において水道水源の取水地点及びその周辺の区域で、水源の保全のために特に必要があると認める区域を水源地域として指定しました。

市内では市の提案分を含め、65箇所(12,083ha)が指定されました。



湧水水源（八幡地内）

② 森林情報の整備

■ 所有者届出制度の運用

森林法の改正により、平成24年4月以降、森林の土地の所有者となった方については市への事後届出が義務付けられました。平成25年度は204件の届出を受理しました。

	H24	H25
届出件数	101件	204件

■ 境界明確化事業の推進

森林境界が不明確なため森林整備が進んでいない森林において、森林施業地の集約化の拡大を図るため2件274haの境界明確化を行いました。(森林境界明確化加速化事業・森林整備地域活動支援交付金事業)

	H23	H24	H25
境界明確化実施面積	177ha	24ha	274ha

① 居住地周辺の山の保全

■ 居住地周辺の整備

【森林山村多面的機能発揮対策事業】

25年度に創設されたこの事業を4地域7団体が活用し、約20haの里山整備を行いました。この事業は地域住民が中心となった民間協働組織が実施する里山林等の保全管理等の取組に対して、一定の費用を国が助成するもので、森林の有する多面的機能の持続的な発揮と、地域力の向上を通じ市民や観光客に対して、里山整備の重要性や効果を広く周知することが期待されます。

実績

	H25
活動団体	7団体
対象面積	20.1ha
活動内容	下刈・雑木の伐採及び集積・作業路の作設及び補修・鳥獣捕獲檻の設置及び管理など



整備実施状況（明宝地内）

【小規模森林整備事業】

面積が小規模であることなどから、国県の補助事業の対象とならない居住地周辺の森林整備に対し9件、3.5haに助成を行い森林の育成や保全を図りました。申請者が間伐や竹林整備を実施したことにより、林内は明るくなり周囲の景観が改善されました。

小規模森林整備事業 実績

内容	H23	H24	H25
申請件数	18件	8件	9件
間伐・枝打ち	7.9ha	5.3ha	3.5ha



下刈り状況（高鷲地内）

【里山整備モデル地区事業】

八幡町地内で里山整備が行われました。この事業は里山の再生や活用に積極的に取り組むことができる自治会等が行う里山整備に対して助成するもので、里山の保全活動を通じて市民や観光客に対して、里山整備の重要性や効果を広く周知することが期待されます。遊歩道を整備したことで地域の人たちがより身近に感じる里山として改善されました。(25年度で事業廃止)

実績

	H24	H25
申請件数	1件(明宝)	1件(八幡町)
整備面積	5.64ha	4.69ha
整備内容	植栽・間伐・枝打ち・竹林整備・作業歩道・看板設置	植栽・修景整備・間伐・竹林整備・歩道整備・看板設置



看板設置状況(八幡地内)

■ 苗木植栽への支援

面積が小規模であることなどから国・県の補助事業の対象とならない公共用地等の緑化に対して、緑の募金事業を活用して5件の緑化事業のために必要な苗木の配布支援を行いました。



植栽状況(大和地内)

② 鳥獣害対策

■ 鳥獣害対策の推進

【郡上市鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例】

26年度からの施行を目指し、鳥獣による農林水産業等への被害を防止するため、「郡上市鳥獣被害対策実施隊」を設置する条例を制定しました。

【調査対策】

森林・環境税を活用して2地域3箇所にセンサーカメラを設置し、野生動物の生息生態調査を行いました。実施地域の猟友会総会において撮影した動画や写真、対策案を報告しました。

(森林・環境基金事業)



撮影された野生動物(高鷲町)

【捕獲対策】

ニホンジカが増えすぎて被害が多発しているため、森林・環境税を活用して、狩猟中にニホンジカの個体数調整を実施しました。また、その他の有害鳥獣については、前年度に引き続き、駆除隊へ有害鳥獣捕獲奨励金(7月からは鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業奨励金)を交付して被害対策に努めました。結果、年間で2,611頭(羽)の有害鳥獣が捕獲されました。

また、わな補助者の制度を活用し、免許所持者を中心に集落単位での有害鳥獣捕獲体制づくりを推進しました。

有害鳥獣年間捕獲数

内容	H23	H24	H25
イノシシ	230 頭	459 頭	500 頭
シカ	1,370 頭	1,577 頭	1,741 頭
サル	182 頭	245 頭	161 頭
カラス	59 羽	143 羽	195 羽
カワウ	-	-	14 羽
クマ	0 頭	0 頭	0 頭
合計	1,841 頭 (羽)	2,424 頭 (羽)	2,611 頭 (羽)

【防除対策】

電気柵、檻に対して助成する防除事業や、狩猟鳥獣を食材にするジビエの取組み、犬による追い払い「モンキードッグ」の育成などが進められました。

(郡上市有害鳥獣対策地域力支援事業・モンキードッグ育成事業)

地域別被害額（農作物） (単位：千円)

地区名	H23	H24	H25
八幡	11,045	16,415	13,222
大和	6,659	6,991	10,100
白鳥	4,086	4,472	4,280
高鷲	3,668	4,968	6,082
美並	4,594	11,215	5,971
明宝	5,671	10,204	10,910
和良	2,357	13,189	7,537
計	38,080	67,454	58,102



モンキードッグ訓練状況

③ 利用の促進

■ 「愛宕公園」の改修

市民と森林のふれあいの場である八幡町島谷の愛宕公園の遊歩道において一部老朽化が進み、安全面での機能が低下している個所がみられたため、森林環境税「里山林整備事業」を活用して遊歩道の施設改修を実施しました。

(森林・環境基金事業)



愛宕公園 遊歩道

① 団地化の推進と機械化

■ 地域展開型森づくりプロジェクトの取り組み

24年度から郡上地域森づくり協議会により、白鳥町阿多岐地域において、25年度から郡上森林組合が大和町古道地域において、「地域展開型森づくりプロジェクト（通称：地域森プロ）」の認定を受け、郡上地域のモデルとなる効率的な木材生産に取り組んでいます。



搬出の状況（阿多岐地内）

■ 高性能林業機械等の導入

25年度には、2事業体がグラップル付きトラックを購入し、1事業体がグラップル1台を購入し、効率的な森林施業の体制を整備しました。

（木材加工流通施設等整備加速事業・林業木材産業改善資金）



プロセッサ

高性能林業機械の保有状況（25年度末現在）

プロセッサ	ハーベスタ	タリヤーダ	スイングヤーダ	計
8台	4台	1台	9台	22台

② 路網の整備

■ 林内路網の整備

「中美濃線」をはじめとした林道を1,618m開設するとともに、作業路の開設は、事業者が行う加速化事業分も含めると54路線 21,477mが開設されました。（道整備交付金事業、路網整備加速化事業）

また、持続的森林経営確立総合対策実践事業を活用して作業道の補修を行いました。（持続的森林経営確立総合対策実践事業）

内容	H23	H24	H25
林道の開設	2,299m	6,610m	1,618m
作業路の開設	54路線 20,937m	35路線 13,167m	54路線 21,477m
林内路網密度	23.1 m/ha	23.3 m/ha	23.6 m/ha



中美濃線林道

③ 森林の循環システムの構築

■ 郡上市皆伐施業ガイドラインの作成

持続的・安定的な木材生産体制づくりと公益的機能の維持・増進を図るため、森林の皆伐を行う際の留意事項をまとめた「郡上市皆伐施業ガイドライン」を作成し、関係者に周知しました。



郡上市皆伐施業ガイドライン（概要版）

■ 市有林の整備と活用

25年度は古道市有林の森林経営計画を作成しました。また、八幡町ナカソレ市有林で取り組む『森林資源循環プロジェクト』では、森林文化アカデミーの協力によりコンテナ苗等による補植を行いました。今後は、森林研究所の協力のもと、保育にかかるコストと生育状況を継続して調査していきます。

実績

内容	H23	H24	H25
間伐（保安林事業分含）	85ha	3.8ha	- ha
搬出材積	605 m ³	0 m ³	-m ³
植栽	950本	750本	510本

森林資源循環プロジェクト

郡上市に多い奥山や急傾斜地などの木材生産林として条件の悪い地域での低コスト林業を検討するため、市有林で取り組んでいるプロジェクト



ナカソレ市有林 植栽状況

① 加工・流通体制の整備、商品の開発

■ 加工・流通体制の整備、商品の開発

【施設整備】

市内の製材工場に基金事業（木材加工流通施設等整備加速事業）によりグレーディングマシンが整備されました。これにより郡上市産材の品質の向上が図られ、今後、郡上市産材の利用拡大が期待されます。



グレーディングマシン

【経営強化】

岐阜県製材工場体質強化経営セミナーにも市内から1事業体から参加され、マーケティングや経営戦略に関する基礎知識を学びました。

■ 大型製材工場の整備

大型製材工場の用地取得や施設整備について支援を行いました。25年度は事業主体となる長良川木材事業協同組合が設立され、2月28日には事業主体による大型製材工場の起工式が執り行われました。（林業基盤整備事業）

■ 郡上わりばしプロジェクト支援

郡上市内の主婦や林業関係者で結成された市民活動団体の「郡上わりばしプロジェクト実行委員会」が、ぎふ森林・環境税を活用して郡上市の木材で作った割り箸の市場調査及び普及活動を行いました。

② 公共施設の木造化、木質化の推進

■ 木造化の推進

市立大和中学校が、老朽化と耐震性の確保のため改築されることになり、郡上市産材をふんだんに使用した木造校舎として建設が進められています。

（森林・環境基金事業・26年度に繰り越し）



建設中の大和中学校

③ 木造建築の促進

■ 郡上市産材の利用促進

郡上市産材の利用促進と市内への定住促進を図るため、『郡上市産材住宅建設等支援奨励金制度』に取り組みました。この制度は、郡上の木を80%以上使って新築する場合などに10～50万円の奨励金を交付するもので52件に交付しました。(郡上市産材住宅建設等支援奨励金事業)

内容	H23	H24	H25
交付件数	42件	50件	52件
郡上市産材80%以上使用	80%	88%	83%
新規定住につながったもの	47%	42%	31%



郡上市産材住宅（白鳥町）

④ 森林資源の利活用促進

■ 地域材を活用した木質バイオマスエネルギーの利用

明宝地域において、地域内の森林資源を活用した木質バイオマスエネルギー循環システムの構築を目指し、明宝温泉湯星館への木質ボイラー導入に向けた調査研究を行いました。(森林・環境基金事業)

■ 薪ストーブ購入補助制度の活用

23年度から開始した薪ストーブ購入補助制度で25年度の申請交付件数は37件ありました(うちペレットストーブ8台)。25年3月から事業施設(農業用施設・作業所等)も交付対象としています。(森林資源活用事業)

	H23	H24	H25
申請交付件数	44件	40件	37件

※本体価格が20万円以上のストーブを対象とし、本体価格の3分の1(上限10万円)を助成

■ 木の駅プロジェクトの推進

林地残材の有効活用と地域内商店等の活性化を目的として実施されている『木の駅プロジェクト』は、25年度は3団体となりました。(森林・環境基金事業)

団体別搬出量 (単位：t)

団体名	H24	H25
白鳥町木の駅プロジェクト実行委員会	26.4	13.6
たかす木の駅会議	43.9	147.7
小川里山クラブ	—	63.5
計	70.3	224.8



たかす木の駅会議

① 学校教育との連携

■ 森林環境教育の推進

市内6つのみどりの少年団へ助成金を交付して活動支援を行いました。

また、林業グループ、林業普及指導員、市職員が市内外の学校13校について林業体験や森林教室を延べ28回行いました。



林業体験（高鷲町）

■ 木育の普及

木育の普及を目的として、市内全保育園・幼稚園等24施設にぎふの木を使ったおもちゃ「まあるいつみき」を配布しました。



まあるいつみき

② 市民への普及・啓発

■ 郡上市みどりの祭り開催

大和町道の駅古今伝授の里やまと周辺にて、『第7回郡上市みどりの祭り』を開催しました。会場では、オカリナコンサートの他、ネイチャークラフトなど各種体験、会場付近の森林では、間伐見学や植樹・薪割り体験などが実施され、市民が緑に親しみました。



植樹体験（大和町）

■ 森の通信簿事業の試行

簡単な調査手法により森や川を点数評価し、森林の健全度を理解する「森の通信簿」の事業化に向けた試行実施が、郡上市、多治見市、下呂市で行われました。



実施状況（高鷲町）

③ 林業グループ等団体の育成、強化

■ 林業グループの育成、強化

市内で活動する林業グループへ助成金を交付して、活動の支援を行いました。また、各林業グループの活動や会議等に参加し情報や課題を共有しました。

（林業グループ活動育成等事業）



研修会の様子

① 地域座談会の開催

■ 森林づくり推進会議の開催

郡上市の森林づくりの方向性や具体的な推進課題を検討するため、市民、林材業関係者、行政により組織された郡上市森林づくり推進会議を開催しました。25年度は、郡上地域における里山整備対策についての検討や、24年度の市長提言事項の実行評価を行いました。



森林づくり推進会議

② 下流域との交流の促進

■ 企業の森・上下流連携

平成20年に締結された県、市、ブラザー工業の3者協定に基づく企業の森活動を推進しました。この活動は、環境保全活動に関心の高い企業に市内森林において地域住民とともに森林保全活動に参画・貢献してもらうものです。

白鳥町の「ブラザーの森」における春と秋の植栽活動のほか、八幡町市島地内において間伐を実施しました。

また、岐阜市と協定を結ぶ「たずさえの森」では間伐7.58haと枝打0.3haが行われました。
(たずさえの森事業)



ブラザーの森植樹

ブラザーの森活動

間伐実施面積	2.33ha
植栽活動 4月	広葉樹 250本植栽
" 10月	広葉樹 250本植栽

■ 長良川源流の森育成事業

郡上漁協主催のもと、日本一の「郡上鮎」を育む長良川の水源涵養と、「山から川へ、そして海へ」と続く源流部の森を育成し、豊かな生態系を維持・増進することを目的として、大和町古道地内において広葉樹の植樹を行いました。25年度で4回目となり、120名の方が参加されました。

③ 地域資源を生かした交流

■ 東京都港区との交流

みなと森と水ネットワーク会議参加自治体（郡上市ほか 68 自治体）の首長が集い、みなと森と水サミット 2014 が東京都港区で開催されました。都市における国産材活用の促進と林業再生について力強いメッセージを打ち出し、地方自治体の連携による取り組みを全国に広く発信しました。

郡上市においては、郡上市産材を使用した製品の普及を目的として、18 事業者が uni4m に登録しています。

④ 山村文化の継承

■ 郡上やまと獣肉利活用協議会

平成 22 年度に発足しました郡上やまと獣肉利活用協議会が獣肉の利活用を推進するため、各イベントで獣肉を利用したジビエ料理の販売を行い、また、新商品開発にも取り組みました。今後の普及活動や対策に有害鳥獣対策について検討を行いました。



食の祭典でのバザー出店

■ 狩猟関係者との交流

NPO 法人 メタセコイアの森の仲間たちの主催による「第 1 回狩猟サミット」が郡上八幡自然園にて、10 月 25 日から 3 日間に亘り開催されました。全国から狩猟関係者や行政関係者等、約 150 名が集まり、様々な視点から狩猟との関わりを学び、情報交換し交流を深めました。



狩猟サミット開会式

① 雇用環境改善への支援

■ 市産材製品支援

市産材を使用した木製品の普及促進を目的として、2事業体に対し、4名の雇用支援を行いました。

■ 郡上の山ぬし自力間伐講座の開催

森林所有者を対象に、間伐の理論とチェンソーを使った安全作業の講習会が開催されました。これは森林・環境税を活用した「木の駅プロジェクト」の一環で、受講者はチェンソーの使い方などの講義を受け、市有林で実習を行いました。



間伐講習の様子

② 森林技術者の育成と技術の継承

■ 原木安定供給体制整備の勉強会

皆伐による木材生産に対する疑問や不安を解消し、市内の大型製材工場に安定的に木材を供給する体制づくりを検討するため、事業者・国・県とともに勉強会を開催しました。

開催日	講師	参加者
6月4日	(有)岸本木材店 岸本泰生氏	33人
11月25日	ひむか維森の会 松岡明彦氏	55人
12月5日	鹿児島大学教授 遠藤日雄氏	81人



遠藤日雄氏講演会

■ 素材生産技術協議会の設立

安全や環境に配慮した持続的な木材生産体制の強化推進を図るため、素材生産技術向上を目的とした素材生産技術協議会を設立しました。

■ 人材育成研修への参加・支援

林業に関する担い手の育成のため、県内で各研修が行われました。施業プランナー研修は25年度までに市内5つの林業事業体から13名が受講されました。その他、25年度は、フォレストワーカー研修に11名が受講されました。

市では、5事業体及び1高等学校の134名に対し、研修費用を助成し専門的な知識及び技術習得を支援しました。(森林・林業人材育成事業)

■ 緑化功労者表彰

緑化活動に長年貢献したことが認められ、郡上市から2名が表彰を受けられました。

緑化功労者	
(公社)国土緑化推進機構理事長感謝状	1個人
岐阜県緑化功労者表彰「知事表彰」	1個人



受賞者の市長面談

■ 資料 郡上市の森林・林業

1. 森林の概況
2. 間伐実施状況
3. 県内他市町村との比較
4. 林業・木材産業の動向
5. 林業の担い手等の動向

1. 森林の概況

- 市総面積の約 9 割が森林 ※表 1
- 森林の 97%が民有林で、うち 9 割が個人の所有する私有林 ※表 2
- 民有林人工林の蓄積量は 15,529 千 m^3 で資源が充実 ※表 3
- 人工林の主要樹種は南部地域はヒノキ、北部地域はスギの割合が高い
 - 美並・和良地域の人工林面積の 8 割弱がヒノキ
 - 白鳥・高鷲地域の人工林面積の 8 割強がスギ
 - 市全体では、スギ、ヒノキ人工林面積の割合はほぼ同程度
- 人工林の 86.0%が間伐対象林分 (3~12 齢級=11~60 年生) ※表 4

[表 1] 総土地面積に占める森林の割合

単位：ha

区分	総土地面積	森林	農地	その他	森林率
郡上市	103,079	92,463	1,739	8,877	89.7%

[表 2] 所有形態別森林面積

単位：ha

区分	民有林		国有林	合計
	私有林	公有林		
面積 (割合%)	82,047 (88.7)	7,893 (8.6)	2,523 (2.7)	92,463 (100.0)

[表 3] 民有林人工林・天然林別蓄積量

単位：千 m^3

区分	人工林			天然林	合計
	12 齢級まで	13 齢級以上	計		
蓄積量 (割合%)	12,284 (58.3)	3,245 (15.4)	15,529 (73.7)	5,544 (26.3)	21,073 (100.0)

[表 4] 民有林人工林齢級別面積

単位：ha

区分	1~2	3~7	8~9	10~12	13~	合計
面積 (割合%)	114 (0.2)	11,362 (22.9)	14,284 (28.8)	16,966 (34.1)	6,974 (14.0)	49,700 (100.0)

2. 間伐実施状況

○ 25年度は、約1,400haの間伐を実施

○ 郡上市は県全体間伐実施量の約17%を実施

間伐実績 単位：ha

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
郡上市	3,456	3,236	3,023	3,093	3,078	2,630	1,976	1,435
県全体	15,836	14,559	14,428	14,373	14,284	14,000	12,400	8,382

(県)新緊急間伐推進5ヶ年計画 (県)間伐推進加速化計画 (県)間伐推進加速化計画(改訂)

3. 県内他市町村との比較

総森林面積 ha

1	高山市	200,606
2	郡上市	92,463
3	下呂市	78,400
4	揖斐川町	73,490
5	中津川市	54,055

民有林人工林面積 ha

1	郡上市	49,700
2	高山市	45,332
3	下呂市	33,339
4	中津川市	23,141
5	恵那市	20,797

民有林人工林蓄積 千m³

1	郡上市	15,529
2	高山市	11,686
3	下呂市	11,528
4	中津川市	6,486
5	揖斐川町	6,098

年間除間伐実施面積 ha

1	高山市	1,935
2	郡上市	1,686
3	下呂市	885
4	関市	827
5	本巣市	693

年間造林実施面積 ha

1	郡上市	44
2	高山市	29
3	関市	22
4	本巣市	20
5	美濃市	9

森林作業道等開設実績

1	下呂市	51路線(33,826m)
2	高山市	47路線(29,840m)
3	東白川村	41路線(17,663m)
4	中津川市	40路線(14,305m)
5	郡上市	35路線(13,167m)

林道路線数

1	高山市	275路線(598,001m)
2	郡上市	273路線(607,171m)
3	下呂市	212路線(519,654m)
4	中津川市	203路線(510,676m)
5	関市	135路線(238,257m)

森林技術者数

1	高山市	212人(28事業体)
2	郡上市	171人(18事業体)
3	中津川市	85人(13事業体)
4	下呂市	72人(12事業体)
5	飛騨市	71人(13事業体)

平成24年度版 岐阜県森林・林業統計書より

4. 林業・木材産業の動向

	H 2 1	H 2 3	H 2 4	備考 (増減率・H24/H21)
皆伐面積・材積	63.9ha 16.6千m ³	63.5ha 11.2千m ³	62.9ha 15.2千m ³	98.4% 91.6%
択伐面積・材積	781.9ha 83.3千m ³	53.6ha 6.4千m ³	7.5ha 0.8千m ³	1.0% 1.0%
間伐面積・材積	2,106.6ha 163.4千m ³	1,764.7ha 175.7千m ³	1,517.00ha 138.3千m ³	72.0% 84.6%
うち利用間伐 (造林補助)	132.0ha 7.0千m ³	523.8ha 17.5千m ³	567.7ha 27.7千m ³	430.0% 395.7%
素材生産量	45千m ³	66千m ³	78千m ³	173.3%
木材流通量(2市場)	31千m ³	41千m ³	37千m ³	119.4%
原木加工量	11千m ³	8千m ³	8千m ³	72.7%
シイタケ生産量 (生・乾)	471.0t	429.6t	428.4t	91.0%
住宅着工数(木造)	116戸	123戸	123戸	106.0%

5. 林業の担い手等の動向

	H 2 1 上段:郡上・下段:県	H 2 3 上段:郡上・下段:県	H 2 4 上段:郡上・下段:県	備考 (増減率・H24/H21)
林家数	4,484戸 35,105戸	4,320戸 34,199戸	4,320戸 34,199戸	96.3% 97.4%
林業経営体数 施業計画策定者含む	(H17) 2,217者 (H17)10,984者	(H22)1,777者 (H22)8,426者	(H22)1,777者 (H22)8,426者	80.2% 76.7%
林業就業者数	(H17) 175人 (H17) 1,282人	(H22) 290人 (H22)2,113人	(H22) 290人 (H22)2,113人	165.7% 164.8%
林業総生産額	(H21) 1,770百万円 (H21)11,632百万円	(H22)1,345百万円 (H22)9,017百万円	(H22)1,345百万円 (H22)9,017百万円	76.0% 77.5%
林道・作業道開設実績	2.1+24.2Km 23.0+159.0Km	2.0+25.2Km 7.3+239.0Km	6.6+13.2Km 10.5+176.5Km	
路網密度	22.6 m/ha 20.4 m/ha	23.1 m/ha 21.2 m/ha	23.3 m/ha 21.5 m/ha	